

事務事業名		水の縁推進事業		所属部	政策企画部	所属課	地域振興課
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	尾原ダム・国際交流G	課長名	板持周治
	施策名	〈01〉市民が主役のまちづくりの推進		担当者名	板垣健一	電話番号	0854-40-1013
	目的・対象	市民	意図	まちづくりの課題を主体的に解決する。			
	基本事業名	〈003〉まちづくり活動の拠点整備		担当課	環境課	電話(内線)	2312
目的・対象	活動している市民	意図	活動しやすい場所がある。				
予算科目	会計	款	大事業	大事業	ダム湖周辺地域活性化事業		
	0	1	1	0	0	7	事業名
	項	目	中事業	中事業	水の縁推進事業		
	0	5	6	5	1	0	事業名

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (25年度～ 34年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
尾原ダムが完成し、尾原ダム水源地域ビジョンに掲げる「つなげよう、育てよう、活かそう“さくらおろち湖”」の実現に向け、水源地域の活性化のための事業を展開している。このビジョンに基づく各種プロジェクトを実施する地元住民や地域づくり団体等の取り組みが自主的持続的な活動となるよう、周辺施設を活用した様々な活動(イベント等)を支援する。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	29年度実績(29年度に行った主な活動)	30年度計画(30年度に計画する主な活動)				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観保全・景観創出業務(2委託)</li> <li>・さくらおろち湖周辺の景観を向上させるために、周辺の森林や斜面に繁茂するクスやカズラ等の駆除や植樹植栽による景観創出活動を支援する</li> <li>・地域づくり支援(スポーツ振興)業務</li> <li>・ダム湖や周辺施設等を活用したトレイルラン大会やトライアスロン大会、ランニングバイク大会などスポーツイベントを支援する</li> <li>・観光レクリエーション業務</li> <li>・斐伊川流域で繋がる上下流域交流イベント(ダム湖まつり、そば打ち交流)などを支援する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観保全・景観創出業務(2委託)</li> <li>・さくらおろち湖周辺の景観を向上させるために、周辺の森林や斜面に繁茂するクスやカズラ等の駆除や植樹植栽による景観創出活動を支援する</li> <li>・地域づくり支援(スポーツ振興)業務</li> <li>・ダム湖や周辺施設等を活用したトレイルラン大会やトライアスロン大会、ランニングバイク大会などスポーツイベントを支援する</li> <li>・観光レクリエーション業務</li> <li>・斐伊川流域で繋がる上下流域交流イベント(ダム湖まつり、そば打ち交流)などを支援する</li> </ul>				
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	ア 委託数	件	5	4	4	4
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	市民	ア 人口	人	39,032	38,506	37,794	37,987
	イ						
	ウ						
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	尾原ダム周辺施設を活用した各種事業を展開し、訪れやすいようにする	ア さくらおろち湖周辺イベント来訪者	人	80,091	86,810	73,647	80,000
		イ 水源地域ビジョンプロジェクト実施率	%	77	95	97	100
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)	
さくらおろち湖周辺景観保全業務(3,290千円)	財源内訳	国庫支出金	千円				
さくらおろち湖周辺植栽・景観創出業務(4,300千円)		県支出金	千円				
さくらおろち湖周辺観光レクリエーション支援業務委託(5,540千円)		地方債	千円	10,100	12,500	15,100	11,700
尾原ダム周辺 地域づくり(スポーツ振興等)業務委託契約(1,998千円)		その他	千円				
		一般財源	千円	5,771	3,278	28	2,328
	事業費計(A)	千円	15,871	15,778	15,128	14,028	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	3,820	4,200	5,000	
		人件費計(B)	千円	14,951	16,661	20,385	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	30,822	32,439	35,513		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
尾原ダムが完成し、周辺施設を活用した本事業が本格化している。平成25年9月には、尾原ダム水源地域ビジョンが策定され、「つなげよう、育てよう、活かそう“さくらおろち湖”」の実現に向け、各種プロジェクトを実施している。	尾原ダム水源地域ビジョンに基づき着実に事業実施している。10年期の計画であり、早期(3年)プロジェクトが終了し、引き続き、中期プロジェクトを実施していく。	水源地域ビジョンに基づく、流域交流イベントの活性化、観光資源として周辺施設の積極的な活用による、尾原ダムの魅力の向上に期待が寄せられている。

事務事業名	水の縁推進事業	所属部	政策企画部	所属課	地域振興課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合 →	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 理由	魅力ある地域資源を生かすことにより来訪者数の増加は期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由	水源地域ビジョンの達成ができない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合 → (具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由	プロジェクトを推進するための事業がない。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由	上下流域の交流事業を展開していくため、また、景観保全の維持管理をするための最低限経費であり削減余地は無い。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由	既に委託事業により実施している。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由	水源地域ビジョンに基づくプロジェクトとして地元地域住民や関係団体と協議し、適正に進めている。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	水源地域ビジョンに基づき関係団体等が連携して、プロジェクトを展開している。その結果、毎年さくらおろち湖全体では、約13万人(うち雲南市8万人)が訪れるようになり、市内では、さくら祭りに次ぐ入り込み客数になっている。今後、まだ増加余地があるので、増加対策を図りつつ、波及効果の発揮を目指していく必要がある。

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>水源地域ビジョンに基づく実施プロジェクトの実施に当たり、毎年度、地域住民や地域づくり団体からの意見を踏まえ検証しながら事業展開していく。</p>																						